

ごへんち

～すべては子どもの笑顔のために～



二戸市立御返地小学校

第10号

令和6年7月26日



夏休み「家でしかできない体験を」

1学期が終わり、いよいよ明日から26日間の夏休みに入ります。

本日、1学期の終業式を行いました。子どもたちは、立派な態度で式に臨んでいました。また、児童代表のことは「1学期の反省と夏休みの抱負」では、2年、4年、6年、児童会代表のみなさんが発表しました。

夏休みは、当たり前のことを当たり前実践できる26日間にしてほしいです。朝早く起きる、しっかりご飯を食べる、歯みがきをする、自分で決めた仕事（手伝い）をしっかりとる、午前中に集中して勉強する、元気よく体を動かす、早寝を心がけるなどなど、毎日のあたりまえのことです。その1日1日の積み重ねこそが「充実した夏休み」につながり、自分自身を大きく成長させる糧となります。

長い休みは、家族や地域の方々が生きています。家でしかできない経験やチャレンジをたくさんしてほしいです。

今年の夏は、4年に1度開かれるオリンピックもあります。今回は100年ぶりのパリでの開催です。開会式は、選手団はセーヌ川を船で入ってくるという事前情報や、新しい競技もたくさんあります。小学生の心に、何かしら思いを巡らせて観てほしいものです。

近年は、気象の大きな変動により、急激な川の増水やがけ崩れ、火災など、災害が身近で起きている現状もあります。4年生の社会の学習にもありますように、いざという時に備えて、家族で集合する場所を決めておく、非常持ち出しグッズの備えなど、学校から離れて生活するため、今一度、確認をしておくことをお勧めします。

8月22日には、21人みんなそろって、元気に登校してくる子どもたちに会えることを楽しみにしています。

よい夏休みをお過ごしください。



花火玉



毎年、二戸市のお祭りの時に打ち上げる花火の募金玉作成が御返地小学校にも回ってきました。全校で、花火の模様に見立てた折り紙を貼って作成。たくさん集まるとよいですね。募金玉は二コア入口に飾ってあります。



命を守る学習～防犯教室

24日（水）に全校のみんなで防犯について学びました。

二戸警察署生活安全課、駅前交番の方々に来ていただいて、命を守る学習をしました。

そもそも、不審者とは、どのような人をいうのか？ということをもまずは考えました。不審者とは、自分が手を広げてぐるっと1回転した距離の中に、入り込んで知らない人を言うのだそうです。人との距離をとることも大事だということを考えました。

そして、**いかのおすし** という合言葉の確認をしました。

また、不審者にあったならばその人の特徴を服装、年齢、身長、体格的な特徴、靴の色など、車の場合はナンバーを覚えておいてすぐに知らせることが、特定につながるということも学びました。

また、ランドセルをつかまれたら、どのようにすればすぐに、逃げることができるのか、など具体的に5年生の男子2人がやってみて教えていただきました。

御返地小の近くの県道は、知らない人もたくさん通ります。一人で歩くことは危険なので、おうちの方々も、くれぐれもご注意、ご配慮願います。



- 「いか」 知らない人についていかない
- 「の」 知らない人の車に乗らない
- 「お」 大声でさけぶ
- 「す」 すぐに逃げる(大人の人がいる所に)
- 「し」 知らせる



不審者侵入



不審者とは...



ランドセルをつかまれたらバンザイして下にしゃがむ